

●世界があこがれる観光都市・京都の実現と観光MICE都市への更なる飛躍

東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスタースゲームズ等の開催を見据え、京都ならではの「おもてなし」に磨きをかけるとともに、京都の魅力を国内外に積極的に発信する等、世界があこがれる観光都市・京都の実現及び世界に冠たる観光MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への更なる飛躍に向けた取組を推進します。

『京都観光振興計画2020』の概要

世界があこがれる観光都市へ

計画の趣旨

京都市には、世界に誇る歴史や伝統、普遍的な価値である数々の遺産、景観、まちなみ、くらしがあります。そして何より、それらを受け継いできた京都市民というかけがえのない「ひと」がいます。時代とともに移り変わる観光を取り巻く状況の大きな変化を市民一人一人が危機感を持って乗り切り、これまで以上に確固たる京都の地位を確立し、京都が世界に貢献するために、本計画を策定しました。

計画の対象期間

平成26年10月から平成33年3月まで

目指す姿

世界があこがれる観光都市へ

- ◆ 2020年の観光都市像
 - ・ 多様な景観資産、自然景観と文化資産を守り、育て、創造的に活用を進めるまち
 - ・ 旅と暮らしの安心・安全が世界一しっかりと守られているまち
 - ・ ひとと公共交通を優先する、歩いて楽しいまち
 - ・ 市民ぐるみで観光客の皆様をあたたくお迎えする、おもてなしのまち

計画目標

- ◆ 京都を再び訪れたいという「再来訪意向」
- ◆ 親しい友人に京都観光を進めたいと思う「紹介意向」
- ◆ 京都滞在中に「おもてなし」を感じたかをお聞きする「京都のおもてなし度」
 - ↓
 - ・ 毎年着実に評価を向上、100%に近づける
 - ・ 「大変そう思う」の回答割合 80%以上を目指す
- ◆ 外国人宿泊客数 年間300万人
- ◆ 観光消費額 年間1兆円

計画の主な構成

◆ 4つの柱

- 1 人づくり、まちづくり
～おもてなし・やすらぎ・しっらい～
 - ・ 市民の皆様が京都の魅力を再認識し、実感していただく
 - ・ 京都ならではの「おもてなし」を研究し、広め、京都らしい、おもてなしの名人を育み支える
 - ・ 全ての方が京都観光をお楽しみいただけるよう「安心・安全」を徹底的に高める
 - ・ 外国人観光客の皆様が「買物」を通じて、楽しむことができるまちづくりを進める
 - ・ 誰もが快適に過ごせる「やさしさ」あふれるまちづくりを進める
- 2 魅力の向上、誘致手法
～きらめき・いざない～
 - ・ 観光客の皆様にごできるだけ長く京都に滞在していただく
 - ・ スポーツイベントなどを観光にいかすなど、観光商品の開発を進め産業振興等を推進する
 - ・ 和装、京の食文化、日本酒、京野菜等の京都が培ったあらゆる価値の蓄積をいかした新たな観光資源をつくる
 - ・ 海外からの教育旅行誘致等を推進し、国際交流による相互理解を推進する
 - ・ 国内・海外からの観光客の皆様の誘致を強化する
 - ・ 国内他地域との連携を強化する
- 3 魅力の発信、コミュニケーション
～ひびき・ひろがり～
 - ・ 東京オリンピック・パラリンピック等に合わせた京都の魅力発信を強化する
 - ・ 京都の魅力に対する理解の促進と京都へのあこがれをつくるための情報の受発信を強化する
 - ・ 京都の観光の意義や効果等を市民の皆様にご知らせし、観光に対する理解を深めていただく
- 4 MICE戦略
～つどい～
 - ・ 主催者が京都を選択しやすい環境を整える
 - ・ 京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る
 - ・ 世界平和や人類の未来に貢献する国際会議の誘致を図る
 - ・ MICEの開催を通じて都市の活力を向上させる

「京都市MICE戦略2020」の概要

MICE（マイス）とは・・・

- M（ミーティング）
 - … 企業のミーティング等
- I（インセンティブ）
 - … 企業が表彰や研修などの目的で実施する旅行（企業報奨・研修旅行）
- C（コンベンション）
 - … 国際団体、学会、協会が主催する総会、学術会議等
- E（イベント／エキジビション）
 - … 文化・スポーツイベント、展示会・見本市

策定の趣旨

京都市は、国内自治体では初めて「京都市 MICE（マイス）戦略」を平成 22 年に策定し、まだ日本で MICE という言葉があまり浸透していない時期から、いち早く MICE の可能性を見出し、積極的に取り組んできました。

世界各国・各都市とも MICE 誘致に積極的に取り組んでいる中で、「その土地、施設、文化ならではの会場」での MICE 開催が、主催者側からも参加者側からも求められており、世界に誇る歴史や文化を持つ京都が果たすべき役割は極めて大きいと言えます。

平成 25 年には、国が定める「グローバル MICE 戦略都市」として選定されたこともあり、京都市の取組の重要性は、これまでも増して大きなものとなっています。

このような背景を踏まえ、MICE 誘致を積極的に推進していくため「京都市 MICE 戦略 2020」を策定しました。

計画の概要

- 1 京都市が MICE に取り組む意義
 - 京都のブランドイメージの向上・都市格の向上
 - 市民生活への還元
 - 観光の質の向上
 - 観光立国の実現
- 2 戦略の目標
 - コンベンション開催件数の世界順位→2020 年までに世界 35 位を目指す。（ICCA 統計基準）
 - 外国人参加者比率の国内主要都市※順位→1 位の堅持（JNTO 統計基準）
- 3 施策
 - 開催支援メニューの充実、産学公連携の強化、宿泊・飲食・会場施設等をコーディネートする組織やワンストップ窓口を開設するなど、主催者が京都を選択しやすい環境を整える。
 - 京都にふさわしい MICE 誘致の強化を図る。とりわけ、ミーティング・報奨旅行対策の強化など MICE による経済効果を最大限にする。
 - 環境・科学・分化・歴史など世界の平和や人類の未来に貢献する国際会議の誘致を図る。
 - MICE の開催を通じて都市の活力を向上させる。

【重点事業】

京都コンテンツの海外向け情報発信の強化：1,200万円※

〔新産業振興室・観光MICE推進室〕

伝統、文化、マンガ・アニメなど京都が有する豊富なコンテンツを世界に発信し、海外からの誘客促進や海外を視野に入れたコンテンツ産業推進のため、宣伝効果の高いヨーロッパ最大の日本文化イベントであるジャパンエキスポに出展します。また、香港、シンガポールの国際コンテンツマーケットへの出展等を行うとともに、京都市メディア支援センターの機能強化を図り、テレビ、雑誌等の海外メディアに対する積極的な情報発信を行います。

※ 全体事業費 40百万円（局配分枠22百万円 補正（政策枠）18百万円）

ミラノ国際博覧会出展事業：1,500万円

〔観光MICE推進室〕

27年度にイタリアのミラノ市で開催されるミラノ国際博覧会において、京都府・商工会議所とのオール京都体制で、6月に「京都ウィーク」を実施し、京都の食文化や伝統産業等を世界に発信します。

「第50回 京の冬の旅」・「第40回 京の夏の旅」記念事業：3,250万円※

〔観光MICE推進室〕

京都市及び京都市観光協会が毎年実施している「京の冬の旅」「京の夏の旅」の両観光キャンペーンが、それぞれ50回目、40回目を迎える。「京の冬の旅」については、JRグループのDESTINATION・キャンペーンとしてほぼ毎年指定されるなど、他に類例を見ない両観光キャンペーンが記念すべき周年を迎えるに当たり、全国の京都ファンへこれまでの感謝を伝えるとともに、今後の更なる誘客を図るため、JRグループや観光関連事業者との連携のもと、記念事業を実施します。

（URL: <http://www.kyokanko.or.jp>（京都市観光協会））

※全体事業費 36百万円（局配分枠3百万円 補正（政策枠）33百万円）

京都市温泉観光活性化事業：200万円

〔観光MICE推進室〕

温泉を本市の観光資源として効果的に活用するため、市内温泉事業者等との協議会を設置し、誘客のための施策の検討や温泉施設のPR等を行うことで、市内温泉施設の活性化を図り、本市の観光地としての魅力の更なる向上を目指します。

京都観光の魅力を高める案内機能・観光調査等の充実：920万円※

〔観光MICE推進室〕

◆京都総合観光案内所（京なび）の機能強化・民間観光案内所との連携

京都総合観光案内所において、増加している外国人観光客に対応するための専用コーナーを設置するとともに、繁忙期に京都駅前広場に臨時案内所を設置します。

また、民間観光案内所との連携を強化し、京なびに蓄積した知識、ノウハウの共有を行うことにより、市内全域のおもてなし力の向上を図ります。

（京都総合観光案内所の概要）

所在地：JR京都駅ビル2階

開所時間：8：30～19：00（年中無休）

運営主体：京都総合観光案内所運営協議会

京なび



（写真：京都総合観光案内所，左は愛称ロゴマーク）

◆京都観光総合調査の充実

市内の宿泊施設について、利用者数や利用者属性、市場規模を把握するとともに、運営会社等へのヒアリングを実施し、利用者及び事業者ニーズ、トレンドを把握したうえで、有効な取組を進め、今後の施策立案の検討材料として活用します。

◆世界に誇る観光地KYOTOブランドの向上・普及

世界に誇る観光地KYOTOブランドの向上のため、キャッチフレーズの普及に取り組み、京都ブランドを海外に強力に発信します。

◆京都観光振興計画2020の推進

京都観光振興計画2020マネジメント会議の開催など計画に掲げる取組の推進を図ります。

※全体事業費 90百万円（政策枠9百万円 局配分枠81百万円）

京都洛ラクあんしん車いすレンタル事業：100万円

〔観光MICE推進室〕

2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向けたユニバーサルツーリズムの更なる推進事業として、京都を訪れる高齢者や障害のある方が観光地等で気軽に安心してまち歩きを楽しんでいただける環境を提供するため、車いすの貸出制度を創設します。

観光経営を学ぶ高等教育の推進：600万円

〔観光MICE推進室〕

国内外の観光客に対する京都ならではのおもてなしを更に向上させるため、これまで実施してきた「京都観光経営学講座」の内容について、経営分野に限らない多角的視点に立ったりリニューアル（観光産業、観光による地域振興などの項目を追加）や履修証明の発行を行うなど、経営者層を対象とした、より質の高い担い手の育成講座を高等教育機関において実施します。

京都市認定ガイド（特区通訳案内士）制度の創設：1,000万円

〔観光MICE推進室〕

外国人観光客の京都に対する興味やニーズに応えられる通訳ガイドを育成するため、国の特区制度を活用し、通訳案内士の資格を持たない者であっても、京都市域限定で有償により外国人へのガイドを行うことができるようにする「京都市認定ガイド（特区通訳案内士）」制度を創設し、外国人観光客の受入環境の充実を図ります。

MICE誘致強化事業：3,350万円

〔観光MICE推進室〕

これまで大規模なMICEの開催を対象に実施していた支援に中小規模のMICEの開催も対象に加えるなど、支援制度を拡充することにより、MICE誘致の更なる強化を図ります。

◆小規模MICEへの補助制度新設

これまで補助金交付対象としていなかった50人以上の小規模な総会や学会会議、報奨・研修旅行などの誘致強化

◆開催支援補助金

他都市に比べて魅力が小さい助成金額の拡充による競争力向上

◆京都らしい文化プログラムの活用・伝統産業製品の購入費用を支援

京都らしいMICEの開催による参加者の満足度向上と地元業界の活性化

◆大規模なコンベンションの誘致活動に係る経費を助成

誘致に係る提案書類作成や関係者の招請経費等を支援

グローバルMICE戦略都市としてのマーケティング戦略推進事業：500万円

〔観光MICE推進室〕

グローバルMICE戦略都市として、大学との連携強化によるMICE開催の実態調査の実施や、MICEビジネスに関わる事業者や学術関係者による協議会の設置等により、戦略的なMICE誘致活動等を実施します。

【継続事業】

京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の運営：2,289 万円〔観光M I C E 推進室〕

京都の観光情報をインターネット及び携帯端末向けに発信し、内外からの更なる観光客誘致を図ります。
(京都観光 Navi URL : <http://kanko.city.kyoto.lg.jp>)
(携帯端末対応版 URL : <http://kanko.city.kyoto.lg.jp/mobile>)

国内観光客向け誘致宣伝：2,893 万円〔観光M I C E 推進室〕

◆京都暮らし旅・通年型観光の推進

伝統文化・伝統産業、寺社・庭園建築など有形・無形の様々な文化遺産の更なる活用や朝観光・夜観光メニューの充実、最重点市場である首都圏やリピーターの多い近畿圏などに対する、年間を通じての京都の旬の観光素材の情報発信等を行い、滞在型・通年型の誘客を推進します。

◆修学旅行生の更なる誘致に向けた事業強化など

「大学のまち・京都」の特色を生かし、(公財)大学コンソーシアム京都との連携の下、現役大学生によるキャンパス案内等を行う日本初の体験学習メニュー「京都 B&S (ブラザー&シスター) プログラム」を継続実施するなど、修学旅行誘致をさらに推進します。

また、中国語(繁体字)と英語のリーフレットを活用し、台湾をはじめとした海外からの教育旅行の誘致につなげていきます。

広域観光対策：429 万円〔観光M I C E 推進室〕

京阪神三都市への観光誘客を図るため、三都市及び三都市観光協会等で構成された「京都・大阪・神戸観光推進協議会」において、3都市の観光事業の振興に寄与することを目的として、誘致受入れの諸施策を推進します。

海外情報発信・収集拠点の運営：3,321 万円〔観光M I C E 推進室〕

海外10箇所に設置している「海外情報発信・収集拠点」(※)において、現地の旅行動向等の情報収集を行うとともに、継続的な京都観光のPR活動等を通じて海外メディアでの京都の露出度向上を図ります。

(※) 海外情報発信・収集拠点設置箇所(10箇所)

アメリカ、台湾、中国、香港、韓国、オーストラリア・フランス・イギリス・ドイツ・アラブ首長国連邦(ドバイ)

海外新規市場の開拓：1,015 万円〔観光M I C E 推進室〕

高所得者が多いとされる中東(アラブ首長国連邦)からの誘客を目指し、ドバイで開催される旅行博への出展を軸とした現地でのプロモーションを実施します。

また、ムスリム(イスラーム教徒)観光客向けウェブサイトの更なる内容充実など、当該地域からの受入環境整備を行います。

海外観光宣伝事業：2,300万円〔観光MICE推進室〕

◆海外観光宣伝

本市海外観光の窓口である（公財）京都文化交流コンベンションビューローと連携して、現地でのプロモーションや海外の有力旅行会社招請を実施するなど、外国人観光客の誘客に取り組みます。

◆多言語ウェブサイトの維持管理

平成26年度に機能強化を行った外国人観光客向け公式ウェブサイト（Kyoto Official Travel Guide）（※）の情報の充実やSNSの活用などにより、外国人観光客のニーズに合わせた的確な情報発信を行います。

（※）外国人観光客向け公式ウェブサイト（Kyoto Official Travel Guide）

平成19年4月開設。平成26年11月に全面リニューアルを行い、多言語で情報発信を行っている。

【ウェブサイトの特徴】

- 世界最大の旅行情報サイト「トリップアドバイザー」へのリンク設置
- 民間事業者との連携により、リンク先で予約に対応
- 13言語（英語、繁体字、簡体字、ハングル、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、アラビア語、トルコ語、タイ語、マレー語、ロシア語）対応
- マルチデバイス対応（様々な端末に対応した表示）

京都ブランド向上の取組：800万円〔観光MICE推進室〕

知的欲求が高く、周囲への発信力や影響力が強だけでなく、購買力のある成熟した訪日旅行者（目利き層）の誘客を促進するため、成熟した訪日旅行者向け旅行商品を扱う商談会である「ILTM」(※)及び「ILTM Japan」に参加する旅行関係者に京都の魅力をPRします。

（※）ILTM（インターナショナル・ラグジュアリー・トラベル・マーケット）

フランス・カンヌで毎年12月に開催され、成熟した旅行者を顧客とする旅行会社（バイヤー）と高級ホテル、観光施設等（出展者）との世界的な商談会。参加者は、厳格な審査により選ばれ、事前予約制による真剣な商談が行われる場として知られ、成熟した旅行者層を対象としたイベントとしては最も影響力が強いと言われています。

平成25年3月には、日本一国に特化した「ILTM Japan」が創設され、3年続けて京都で開催されました。主催は、Reed Travel Exhibitions社（本社：ロンドン）。

京都・花灯路事業：4,800万円〔観光MICE推進室〕

宿泊型・通年型観光のシンボル事業として、京都ならではの寺院・神社をはじめとする歴史的な文化遺産やまち並みなどに日本情緒豊かな陰影のある露地行灯の「灯り」やいけばな作品の「花」を配し、思わず歩きたくなる路、華やぎのある路を演出します。平成14年度から東山地域で、平成17年度からは、嵯峨・嵐山地域においても実施しています。

●平成27年度実施内容

■京都・嵐山花灯路－2015

開催時期 平成27年12月11日～20日（10日間）

会場 嵯峨・嵐山地域（渡月橋～竹林の小径～二尊院など）



（写真：嵐山花灯路）

■京都・東山花灯路－2016

開催時期 平成28年3月12日～21日（10日間）

会場 東山地域（青蓮院～円山公園～清水寺）

（URL: <http://www.hanatouro.jp/>（京都・花灯路））



（写真：東山花灯路）

京の七夕事業：5,700万円〔観光MICE推進室〕

「一年に一度願いごとをする」という七夕にちなんで、「願い」をテーマに「京の七夕」事業を開催します。

●平成27年度実施内容

（1）開催期間

平成27年8月1日～10日（10日間）

（2）会場及び内容

●堀川会場（御池通～今出川通）

・堀川遊歩道（押小路～一条戻橋）や元離宮二条城を光の天の川やアート作品の展示など竹と光により演出する。

●鴨川会場（御池通～四条通）

●寺院、神社、門前会等

・特別拝観、七夕飾り、和装優待などを実施

●その他、商店街等での七夕イベント、七夕飾りなど

（URL: <http://www.kyoto-tanabata.jp/>（京の七夕））



（写真：堀川遊歩道「光の天の川」）

また、堀川遊歩道における企画・運営に関し、「京の七夕地元提案枠」を設けて堀川周辺の地域住民等の主体的な参画を促します。

さらに、京の七夕開催に合わせた協賛事業を支援する「京の七夕補助制度」を設け、京都全体で「京の七夕」に取り組む機運を高め、市民及び観光客に8月の京は「京の七夕」と認知してもらえる取組を実施します。

地域と事業者とのマッチングによる地域連携観光の推進：550万円〔観光M I C E推進室〕

魅力を秘めながらも十分に情報発信できていない地域の観光資源にスポットを当て、地域と観光客誘致のノウハウを持つ民間事業者とのマッチングを行い、協働で新たな観光プログラムの開発や効果的なPRに取り組むことで、観光振興と地域活性化を図ります。

- 平成25年度実施地域
左京区大原
- 平成26年度実施地域
西京区大原野

市民による京都の魅力再発見事業：730万円〔観光M I C E推進室〕

観光客へのおもてなし意識を高めるため、市民が京都を知り、京都の魅力に気づき、理解を深めていただく以下の取組を実施します。

① 市民による京都の魅力体験の仕組みづくり

平成26年度は、市内の小学校に通う6年生を対象に、冬休み期間中（平成26年12月20日～27年1月8日）、市内14箇所の世界文化遺産を見学できる子どもたちの「京都再発見事業」を実施しました。平成27年度も市民の皆様が京都の魅力を体験していただける事業を実施します。

② 京都観光サポーター制度

京都国際観光大使、京都観光おもてなし大使、京都名誉観光大使や観光ボランティア団体の活動をホームページ等で紹介することで、奥深い京都ならではのおもてなし力を国内外に広く発信するとともに、「京都観光おもてなしコンシェルジュ制度」の運営を行います。



ユニバーサルツーリズムの推進：218万円〔観光M I C E推進室〕

年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが楽しむことのできる京都観光の実現のため、ホームページ「京都ユニバーサル観光ナビ」の運営や、バリアフリー情報の提供等、ユニバーサルツーリズムに関する問合せに無償で応じるユニバーサルツーリズム・コンシェルジュ制度の運営を行います。

観光案内標識アップグレード推進事業：5,000万円〔観光M I C E推進室〕

平成23年9月に取りまとめた「京都市観光案内標識アップグレード指針」に基づき、平成23年度から平成27年度の5箇年計画で、市内の観光エリアの中から優先度の高いエリアを抽出し、観光案内標識の整備を重点的に進めています。

平成27年度は、鞍馬・貴船、京北、高雄、西山・大原野、淀、苔寺・桂離宮、中心市街地エリアなどを対象とし、周辺の観光資源をじっくり歩いて楽しむための観光案内標識の整備に取り組みます。

免税店拡大等のための支援事業：1,500万円〔観光M I C E推進室〕

外国人旅行者の観光消費の拡大による市内事業者への還元を目指し、外国人観光客に対する買物環境を向上するため、免税店の拡大に向け、事業者を対象とした相談受付、専用ホームページや免税店向け多言語コールセンターの運営等支援を行います。また、外国人観光客に対しては、ウェブサイトでの免税店情報発信に取り組んでいます。

コンベンション推進事業：5,194万円〔観光MICE推進室〕

「京都市 MICE 戦略2020」に基づき、(公財) 京都文化交流コンベンションビューローと連携して、コンベンションをはじめとする MICE の誘致、賓客の招へい等を促進するため、広報・宣伝活動や情報の収集・提供などを行います。

◆京都文化交流コンベンションビューロー運営

(公財) 京都文化交流コンベンションビューローを中心として、コンベンションをはじめとする MICE の誘致、賓客の招へい等を促進するため、広報・宣伝活動や情報の収集・提供などを行います。

◆MICE 誘致強化事業【再掲】

◆コンベンション開催支援事業

レセプションの開催やオプションツアーの実施等を支援することにより、京都の魅力を世界に発信します。

○第12回 STS フォーラム (科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム)

- ・日 時：平成27年10月4日(日)～6日(火)
- ・参加者数見込み：約1000名(うち海外約500名)
- ・会 場：国立京都国際会館

京都市宇多野ユースホステルの運営：－〔観光MICE推進室〕

平成20年7月に全面リニューアルした宇多野ユースホステルは、木のぬくもりを感じる、明るく開放的な和風建築として、「世界で最も居心地のよいユースホステル2012」に選ばれました(同賞を2009年、2011年も受賞。2013年、2014年は世界2位)。温かいおもてなしはもとより、京都ならではの体験・学習・交流事業の実施を通じて、京都の魅力を世界に発信するとともに、国内外からの利用者の更なる満足度の向上を目指します。

※宇多野ユースホステル

http://yh-kyoto.or.jp/utano/index_j.html

TEL 075-462-2288



(写真：京都市宇多野ユースホステル)